

2015年4月27日

外務大臣 岸田 文雄殿
文部科学大臣 下村 博文殿

公益財団法人プラン・ジャパン
事務局長 佐藤 活朗

世界教育フォーラムについての提案

万人のための教育（EFA）目標は目標年を迎え、5月にインチョンで世界教育フォーラム（WEF）が開催されます。日本政府におかれては2013年9月の安倍総理による国連総会一般討論演説において、「女性が輝く社会」の実現に向けて、女性の能力強化及び権利の保護・促進の分野で、国際社会との協力及び途上国支援を強化する意思が強調されたことに対して敬意を表します。引き続き、本会合においても女の子や女性、教育を受けることが困難な状況にある子どもに配慮しつつ、すべての人々が質の高い教育を受けられるように主導的役割を果たされることを願っております。つきましては下記の提案に関し、日本政府のお考えをお聞かせください。

1. 「宣言」案について

(1) 9年間の無償義務教育について

初等教育の就学率については男女の差が改善されてきていますが、修了率については、地域ごとに大きな男女格差があり、サハラ以南のアフリカでは2人に1人の女の子が小学校を修了できていない状況です。世界では6200万人の女の子が小・中学校を修了することができておらず、貧困層の農村部に暮らす女の子も含めたすべて女の子が中学校修了できるのは2111年という試算もあります。基本的人権として保障されている基礎教育を女の子も含めたすべての子どもが最低9年間の無償の義務教育が受けられるように、パラグラフ7の3行目、“**commit to at least 9 years of free and compulsory quality primary and lower secondary education.**”を再確認し、日本政府として途上国の基礎教育支援強化を表明してください。

(2) 参加について

教育政策の実施について、計画、予算立て、モニタリングといったガバナンスに子どもや家族、若者やコミュニティなど様々なステイクホルダーが参加することは、アカウントビリティを高めるだけでなく、人々の能力強化にもつながります。「実施」のパラグラフ12について、鍵となるステイクホルダーとして、“**children, youth, families and communities**”を追加するよう働きかけて下さい。

2. 「枠組み」文書について

(1) ジェンダー平等について

女の子や女性が教育を受けられない障壁を認識し、目標が男女格差なく進捗するために、ジェンダーの視点が抜け落ちないように働きかけてください。

- ・ I-VISION AND RATIONALE のパラグラフ5の“**At the same time, the central role of education in preventing and mitigating conflicts and crises, and in promoting peace and democracy, human rights, reconciliation and social cohesion, must be recognized.**”に **gender equality** を追加することを提案します。

- ・ Target 4.5 の2パラグラフ目、“**gender-based violence, child marriage, early pregnancy and a heavy load of household chores, require special attention.**”の **gender-based violence** の後に、**including school-related gender-based violence** を追加することを提案します。

- ・ 世界の15歳から18歳の女の子の死因の第1位は出産です。日本政府の女性の保健医療分野の取組強化のためにも、Target 4.7:の2パラグラフ目、“**comprehensive sexuality education**”が抜け落ちないよう

に働きかけてください。

(2) 参加について

「宣言」案の(2)同様、子どもや家族、若者やコミュニティなど様々なステイクホルダーを加え、意味のある参加ができるようにすることを提案します。

- ・ **Global targets and specific strategic options** の I パラグラフ目、**all partner** の後に **including children, youth, families and communities** を追加することを提案します。

- ・ **Governance, accountability and partnerships** の **Youth, students, and their organizations** に **children** を追加することを提案します。

- ・ **Financing** の **Innovating, with a focus on partnership, transparency, equity and efficiency:** の最後の行の **Independent monitoring and tracking of spending can significantly increase the funds that schools actually receive.** の **tracking of spending** の後に、**and participatory budgeting process** を追加することを提案します。

3. サイド・イベントについて

5月20日(水)、**United Nations Girls' Education Initiative** と共催で、**Vulnerability, Violence and Voice: Responding to issues of safety and security for adolescent girls in education** と題したサイド・イベントを実施します。女の子たちが直面する学校内外での暴力について、パキスタン/フィリピンの女の子が語ります。このサイド・イベントにぜひご参加いただきたく、お願い致します。

4. Plan International との意見交換について

国際本部の教育担当、**Because I am a Girl** キャンペーンのアドボカシー担当、パキスタン、フィリピンからのユース4名を含む約10名が **NGO フォーラム** および本会議に参加します。サイド・イベント後、もしくは会議中に日本政府との意見交換のためのお時間をいただきたく、お願いいたします。